

B-2 単元評価表

= 単元評価表の作成 =

単元評価表では、児童一人一人の学びが見えるような表を作成し、毎時間の記録を積み重ねることで、確実に基礎・基本の定着と個に応じた対応ができるように心がけてきた。

G1 6年「分数のたし算とひき算」 単元評価表

ねらい	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
時間 学習活動 評価規準 (B規準) 学び方・見える姿	見	見	見	見	見	見	見	見	見	見
1 等しい分数のつくり方とその性質を理解する。 ・等しい分数のつくり方とその性質を理解する。 評価規準 (知・理) ・等しい分数を作ることを通して、1つの大きさをいろいろに表現できることが理解できる。	B	B	B	B	B	B	B	C	B	B
2 通分の意味とその方法について理解できる。 ・分数カードの大小比較を通して、2/3と3/5を分母が同じ分数に直して大きさを比べる。 評価規準 (知・理) ・通分の意味と仕方が理解できる。	C	B	B	A	B	B	B	B	B	B
3 通分の仕方について理解を深める。 ・2つの分母が1以外の公約数を持つ場合や、一方の分母が他方の分母の倍数になっている通分の仕方を考える。 評価規準 (表現・処理) ・手際よく分母の最小公倍数を見つけ、通分ができる。	B	A	B	A	B	A	B	B	B	B
4 異分母分数のたし算の意味を理解し、計算できる。 ・異分母分数のたし算の仕方を考える。 評価規準 (表現・処理) ・単位分数にそろえる必要性に気づき、通分して計算しようとしている。	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
5 異分母分数のひき算の意味を理解し、計算できる。 ・異分母分数のひき算の仕方を考える。 評価規準 (表現・処理) ・単位分数にそろえる必要性に気づき、通分して計算しようとしている。	B	A	B	A	B	A	B	B	B	B